

事業名：

中之島歩行者専用道2号線整備事業

所在地：

北区中之島5丁目

目的：

- ・本路線は、中之島周辺地区を周遊する歩行者専用道路で、本路線を整備することにより、安全で快適な歩行空間が確保されるとともに、東西方向の利便性が向上し地域の回遊性が高まる。
- ・また、堂島川、土佐堀川の水辺空間を活かした整備を行うことで「水の都」大阪にふさわしい景観の形成を構築する。

事業内容

歩行者専用道

延長 L=350m

幅員 W=12m

凡 例

- 当該路線
- ==== 事業中区間
- 完成区間
- ==== 未整備区間
- ==== 未拡幅区間



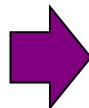
中之島歩行者
専用道2号線

L=350m
W=12m

社会経済情勢等の変化

事業開始時（15年前）

- ・都心部においても、ゆとりや潤いがある快適な空間を形成することが求められており、水辺空間と一体的に整備され、多くの市民の利用が予測される本路線の必要性は高い。



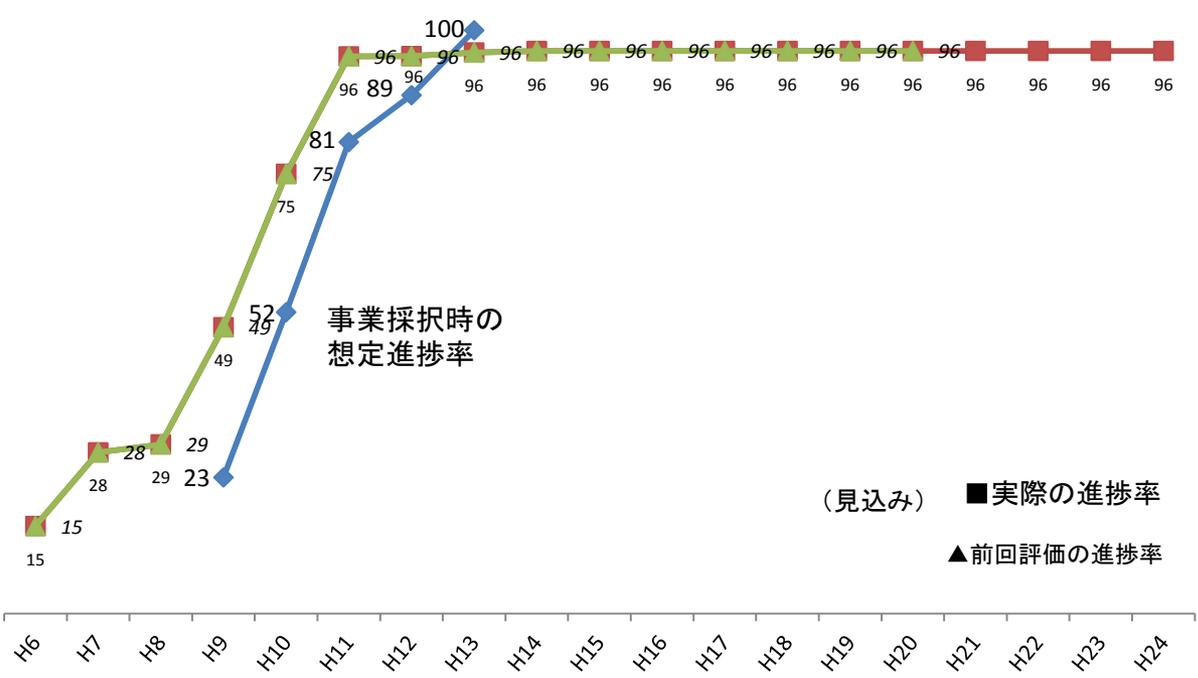
現在

- ・当該地区は、平成14年度、都市再生プロジェクトにおいて、都市再生緊急整備地区に指定され、中之島地区については、水辺空間と一体となった歩行者専用道整備が求められている。
- ・中之島5丁目地区で計画されている面的な開発計画にあわせて、大阪府の河川事業と一体となって整備する必要があるが、開発関係者による土地利用計画や開発手法等の検討が進行中であり、平成28年度の事業化を目途に合意形成を目指している。

- 
- ・本路線の整備により中之島地区における歩行者等の回遊性の高め、周辺の開発計画や水辺空間と一体となった安全で快適な歩行者専用道の必要性が高まっている。
 - ・本路線は、重点整備路線以外のその他の路線としており、厳しい財政状況の下、周辺開発計画等の進捗にあわせた予算確保に努め事業進捗を図る。

事業の進捗状況、今後の進捗の見込み

進捗率の推移（単位：％）



残事業の内容

- ・用地取得0件 (0㎡)
- ・道路工事 (延長350m、面積4,200㎡)
- ・残事業費約0.8億円

今後のスケジュール（見込み）

- ・平成33年度 事業完了予定

事業が遅延した原因とその状況

・本事業は、中之島5丁目地区で計画されている面的な開発計画にあわせて、大阪府の河川事業と一体となって整備する必要があるが、開発関係者による土地利用計画や開発手法等の検討や調整に時間を要し、事業実施時期等が未確定であった。

対応と解消の目途及びその根拠

・本路線は、既設道路に歩道を有していることから歩行者の通行空間は一定確保している。今後、中之島5丁目地区の開発計画に関して、平成28年度を目途に開発関係者による合意形成が整えば、開発事業計画等の進捗に合わせて整備を行う。

事業費の見込み

■建設局運営方針

【局の目標（何を指すのか）】

- 安全・安心で快適な市民生活、活力あふれる都市活動を支える都市空間の実現

【経営課題】

- 都市基盤施設の整備が不十分な地域の解消や地震に対する備えが必要である。
- 近畿圏の広域交通ネットワークを強化し、関西の国際競争力強化を図るとともに、都市における円滑な交通の確保、豊かな公共空間を備えた良好な市街地の形成を図る。

【戦略・取組】

- 密集市街地における道路整備
- 淀川左岸線2期整備
- 連続立体交差事業（阪急京都線・千里線）
- 都市計画道路の整備

■街路事業の進め方

【重点整備路線・完了期間宣言防災路線】

- 用地取得率が高く、整備効果が早期に発現できる路線として重点的に整備する。
- 地震時における重点密集市街地の被害を軽減するため、防災環境軸の核となる路線を重点的に整備する。

【密集市街地関連路線】

- 密集市街地における防災性向上重点地区のうち、特に優先的な整備が必要な密集市街地（優先地区）内の道路整備を進める。

【他事業関連路線、鉄道・立体交差事業関連路線】

- 他事業と連携して進めることが事業進捗上有利な箇所や、先送りすることの影響が大きく他事業の進捗に合わせる必要がある路線に重点的に投資する。

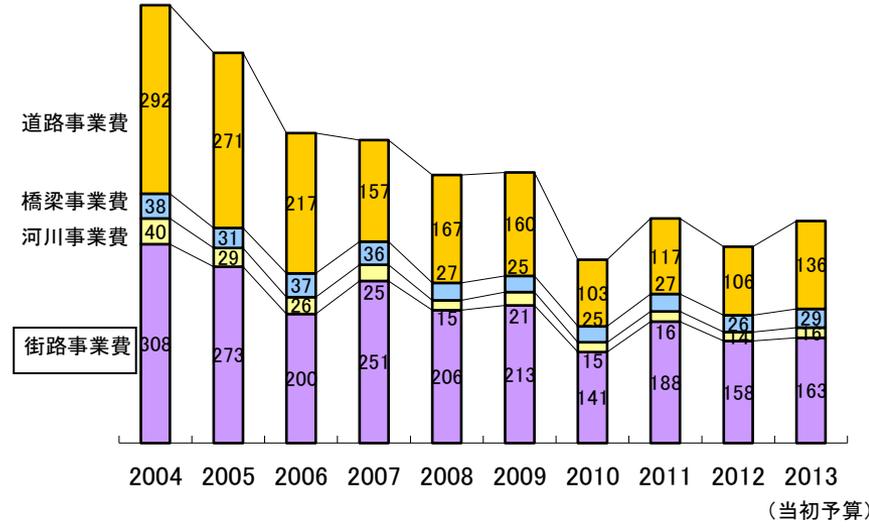
【その他路線】

- 積極的に買収は行わないが権利者の買取要望には対応。
- 重点整備路線の収束にあわせ、次の整備候補路線を抽出する。

■建設局事業費の推移（単位：億円）

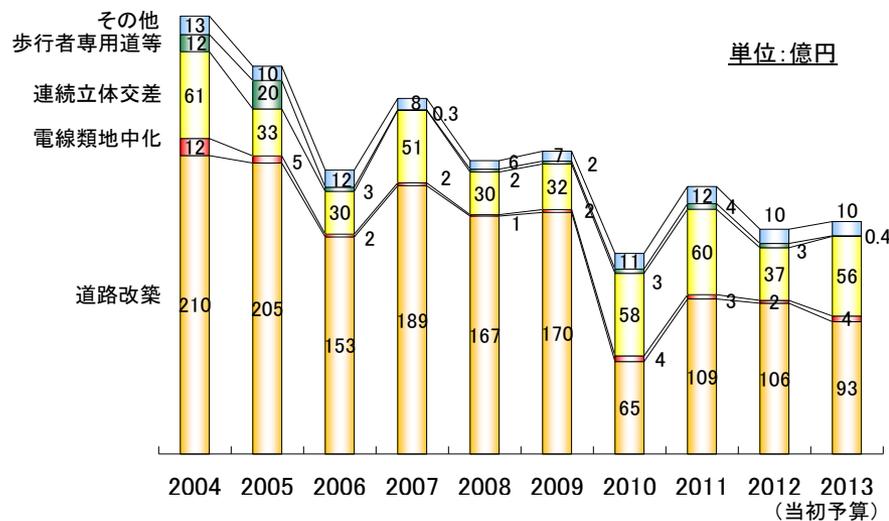
※道路、橋梁、河川、街路事業費のみ

単位：億円



■街路事業費の推移（単位：億円）

単位：億円



事業が遅れることによる影響

事業が遅延する理由（財政面以外）

- ・中之島5丁目の民間開発にあわせ、大阪府の河川事業と一体的な整備を行う予定であるが、開発関係者による土地利用計画や開発手法等の検討が進行中であり、事業実施時期等が未確定である。

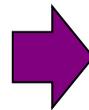
事業が遅延することで発生が想定される課題

（事業者の視点）

- ・中之島周辺地区の安全で快適な歩行空間の確保や、地域の回遊性の向上が遅れる。

（利用者の視点）

- ・歩行空間の確保による歩行者等の安全安心の享受や、水辺空間と一体化することによる親水性の享受が遅れる。



課題への対応

- ・本路線は、他事業（中之島5丁目開発計画・河川事業）と連携して水辺空間と一体となった安全で快適な歩行空間等の整備を進める必要があるため、それら事業計画にあわせ予算を確保しながら事業進捗を図っていく。

- ・既設道路には歩道を有していることから、歩行者の通行空間は一定確保している。

都市計画道路 中之島歩行者専用道2号線

①



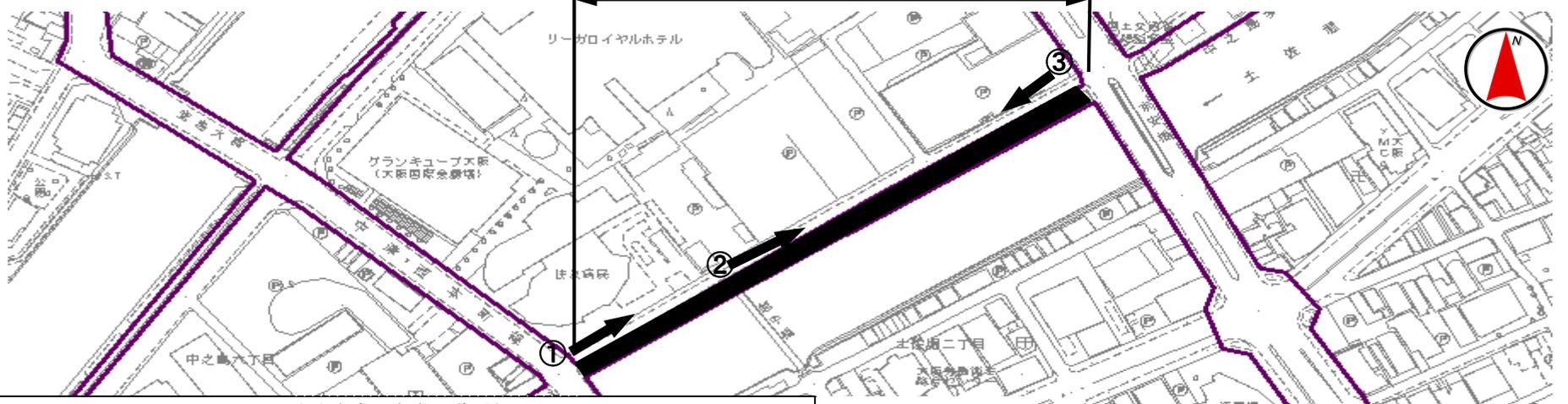
②



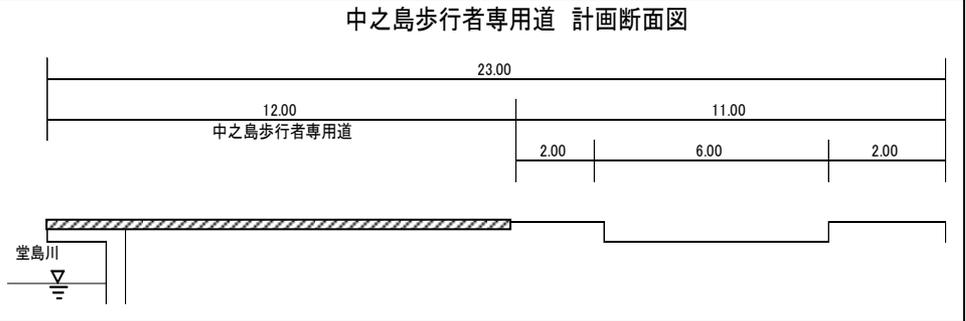
③

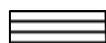


中之島歩行者専用道2号線 事業中箇所 L=350m W=12m



中之島歩行者専用道 計画断面図



凡 例	
	用地取得済箇所
	整備済箇所
	残用地取得物件
	施工中箇所

用地取得率: 100% (面積ベース)
 工事進捗率: 0% (面積ベース)
 事業費ベース進捗率: 96%